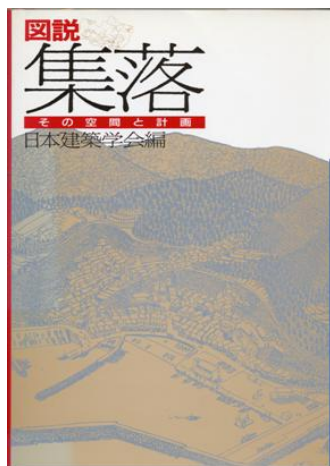
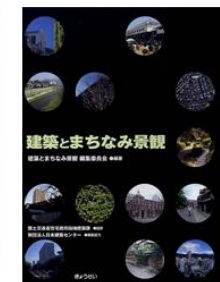
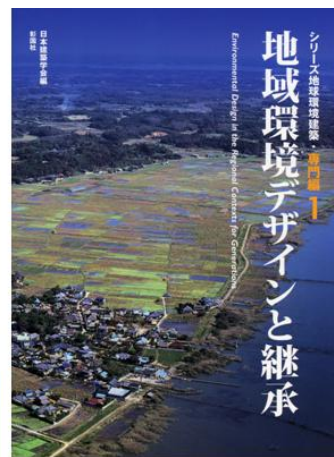
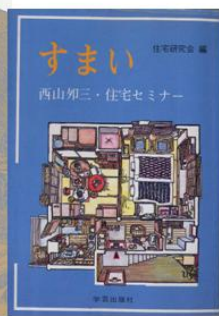


# 山崎の 論文著作 100

著書 学術論文 総説



主な著作・成果報告



## 【著書】

1. 重村力, 山崎寿一, 他 23 名  
図説 集落 —その空間と計画—  
都市文化社, 1989 年  
(編集及び分担執筆) 2 編 1 章「集落空間のモデル」(pp. 68-84, pp. 87-90), 3 編 2 章「集落土地利用計画」(pp. 191-215) を担当
2. 高山敏弘, 山崎寿一, 他 15 名  
都市と農村を結ぶ  
富民協会, 1991 年  
(分担執筆) 1 部 6 章「農的環境資源を活かしたまちづくりの可能性」(pp. 101-112) を担当
3. 早川和男, 山崎寿一, 他 13 名  
住宅人権の思想  
学陽書房, 1991 年  
(編集及び分担執筆) 4 章 2 「農を核とした地域づくり」(pp. 246-261) を担当
4. 紺野昭, 三宅醇, 山崎寿一, 他 8 名  
浜松・豊橋 地方都市計画研究  
日本都市計画学会豊橋大会実行委員会, 1991 年  
(編集及び分担執筆) 2 部「浜松・豊橋 地方計画研究—戦後都市計画の展開と都市空間構造の関係」(pp. 77-208) を担当
5. 藤本信義, 山崎寿一, 他 13 名  
日本の集落景観  
日本建築学会農村計画委員会, 1992 年  
(編集及び分担執筆)「日本の集落を理解するために」(pp. 90-100) を担当
6. 山崎寿一  
生活環境形成における地域主体の研究  
—集落的土地利用の複合的性格に着目して  
神戸大学学位論文, 1993 年
7. 日本建築学会 農村計画委員会 (主査 山崎寿一)  
建築系農村計画 —大系化レポート '98  
日本建築学会, 1998 年  
(編集及び分担執筆) p. 1-60, レビュー編を担当
8. 阪神・淡路大震災調査報告編集委員会  
阪神・淡路大震災調査報告 建築編  
—10 巻: 都市計画・農漁村計画  
日本建築学会, 1999 年  
(編集及び分担執筆) まえがき、第 3 章 2 節「被災疎開にみる被災地と農村、地方の関係」(pp. 455-461) を担当
9. 阪神・淡路大震災調査報告編集委員会

阪神・淡路大震災調査報告 総集編

—共通編— 1

日本建築学会, 2000 年

(分担執筆) 第 7 章 21 節農漁村計画 (pp. 111-114) を担当

10. 建築とまちなみ景観編集委員会 編著

建築とまちなみ景観

ぎょうせい, 2000 年

(分担執筆) 「農村景観づくり」(pp. 101-109) を担当

11. 日本建築学会 編

地域環境デザインと継承

彰国社, 2004 年

(分担執筆) 8 章 8.1 「田園のエコロジカルデザイン」(pp. 184-189), 事例 13-2 「校庭環境の成長と環境教育」(pp. 341-342) を担当

12. 高橋信正, 金澤洋一 編著

田舎のちから 人/資源/環境/交流

昭和堂, 2007 年

(分担執筆) 第 18 章「市民農園で中山間地域のムラおこし」(p. 185-198), 第 19 章「都市のなかで農業・自然体験型まちづくり」(pp. 199-214) を担当

13. 重村力, 山崎寿一, 他 18 名

田園で学ぶ地球環境

技報堂出版, 2009 年

(編集及び分担執筆) 「森を創り出す学校—尼崎市立成徳小学校の場合」(pp. 198-210) を担当

(上記以外 5 冊)

## 【学術論文】

### <神戸大 博士課程時代 生活環境計画研究室>

#### 1. 山崎寿一

生活環境形成からみた農地空間の役割とその評価に関する研究

—農住混合地域の土地・生活環境政策に関する研究 1—

日本都市計画学会学術研究発表会論文集(18), pp. 133-138, 1983年

#### 2. 山崎寿一

都市—農村関係からみた二拠点型居住に関する研究

—ある山村集落・中久保と松山の二拠点型居住—

日本都市計画学会機関誌, 都市計画, 131号, pp. 51-57, 1984年

#### 3. 山崎寿一

阪神間における市民農園の利用実態とその評価

—農住混合地域の土地・生活環境政策に関する研究 2—

日本都市計画学会学術研究論文集(20), pp. 343-348, 1985年

#### 4. 伴丈正志, 山崎寿一, 重村力, 遠州尋美

地方都市における定住サイクルに関する研究

神戸大学自然科学研究科紀要, 4-B, pp. 71-80, 1986年

### <1986—豊橋技科大 助手(紺野研)時代 都市・地域計画研究室>

#### 5. 山崎寿一, 隅田克巳, 紺野昭, 瀬口哲夫

良好住宅地の空間構成とその評価構造

—良好住宅地の研究1(成熟型住宅地・浜松市広沢町の場合)—

日本都市計画学会学術研究論文集(22), pp. 391-396, 1987年

#### 6. 紺野昭, 山崎寿一, 井上憲二, 坂東弘一

豊川用水通水に伴う地域変容と水利用パターン

—渥美農業の変容と農業用水利用に着目して—

日本都市計画学会学術研究論文集(23), pp. 283-288, 1988年

#### 7. 永柳宏, 山崎寿一, 紺野昭

県境域山村における生活・生産行動の圏域特性と地域再編

—長野県売木村・阿南町の場合—

日本都市計画学会学術研究論文集(25), pp. 169-174, 1990年

#### 8. 坂東弘一, 山崎寿一, 紺野昭

豊川用水地域における水利用特性と土地利用の対応に関する研究

—水利用の周年パターンと用水原単位に着目して—

日本都市計画学会学術研究論文集(25), pp. 133-138, 1990年

#### 9. 長井健治, 紺野昭, 山崎寿一

商店主属性と参加意欲との対応関係からみた商業活性化計画に関する事例研究

—愛知県豊川市豊川地区商店街の場合—

日本都市計画学会学術研究論文集(25), pp. 751-756, 1990年

10. 重村力, 山崎寿一

中久保集落の共同性の展開過程

—共同性の空間構造—

日本建築学会計画系論文報告集, 第424号, pp. 101-108, 1991年

11. 浜田謙二, 山崎寿一, 紺野昭, 鄭会正

浜松市・豊橋市における都市公園整備の展開と用地創出・取得方法

—戦後都市計画の展開との関連に着目して—

日本都市計画学会学術研究論文集(26), pp. 361-366, 1991年

12. C. S. Ho, J. Yamazaki, A. Konno

Integrated Public and Private Partnership Approach in Planning of Provincial Cities

The 6th AESOP (Association European Schools Of Planning) Congress, pp. 1-8, 1992

13. C. S. Ho, J. Yamazaki, A. Konno

Potential Application of Land Readjustment Scheme as an Urban Housing Revitalization Technique in Malaysia -The Case of Johor Bauru City in Malaysia and Hamamatsu city's experience in Japan

5th International Research conference on housing, pp. 1-12, 1992

14. C. S. Ho, J. Yamazaki, A. Konno

Residents' Environmental Perception and Evaluation on Housing Estate Development in Johor Bauru Metropolitan Area, Malaysia.

6th International Meeting on Urban Problems in Developing Countries, pp. 64-75, 1992

15. 何進松, 紺野昭, 三宅醇, 山崎寿一

マレーシア・ジョホールバル都市圏における住宅団地開発の実態とその評価に関する研究

—住宅団地開発許可記録・居住者アンケート調査の結果概要を中心に—

日本都市計画学会学術研究論文集(27), pp. 619-624, 1992年

16. 山崎寿一, 重村力

中久保集落における集落域の土地利用と土地割形式

—共同性の空間構造—

日本建築学会計画系論文報告集, 第443号, pp. 133-141, 1993年

17. 宇高雄志, 何進松, 山崎寿一, 大貝彰, 紺野昭

マレーシア・ジョホールバル都市圏の住宅団地の民族混住と居住環境の評価特性

日本都市計画学会学術研究論文集(28), pp. 451-456, 1993年

18. 山崎寿一, 重村力

生活地名からみた中久保集落の空間意識の構成

—共同性の空間構造—

日本建築学会計画系論文報告集, 第 451 号, pp.167-176, 1993 年

<1994-大阪市大 助手・助教授時代(長寿社会環境学講座・富樫・山崎研)>

19. 岡田知子, 富樫穎, 山崎寿一, 白砂剛二, 他 2 名  
中国少数民族の住居・集落の空間構造  
—西双版纳ダイ族の信仰からみた住居・集落の空間構造—  
西日本工業大学紀要, 理工編, 第 25 巻, pp.71-80, 1995 年
20. 富樫穎, 一海有里, 山崎寿一, 岡田知子, 白砂剛二  
住居語意からみたダイ族住居の伝統的空間構造  
日本建築学会計画系論文集, 第 483 号, pp.169-178, 1996 年
21. 岡田知子, 富樫穎, 山崎寿一, 白砂剛二, 他 2 名  
中国少数民族の住居・集落の空間構造  
—西双版纳ダイ族の住居と方位—  
西日本工業大学紀要, 理工編, 第 26 巻, pp.43-50, 1996 年
22. 山崎寿一, 岡田知子, 富樫穎, 白砂剛二, 他 2 名  
生活地名からみたダイ族集落の空間構造  
大阪市立大学生活科学部紀要, 第 43 巻, pp.195-206, 1996 年
23. 山崎寿一  
土地利用の複合性・関係性からみた集落域の空間構造  
—継承的集落計画の研究: 奥能登外浦・上大沢の場合(1)—  
大阪市立大学生活科学部紀要, 第 43 巻, pp.179-193, 1996 年
24. 山崎寿一  
土地利用・生活地名・土地所有からみた集落域の空間構造  
—継承的集落計画の研究: 奥能登外浦・上大沢の場合(2)—  
大阪市立大学生活科学部紀要, 第 44 巻, pp.77-82, 1997 年
25. 山崎寿一  
地域定住から見た地方小都市圏・脇町の地域構造と混住農村の居住世帯特性  
大阪市立大学生活科学部紀要, 第 44 巻, pp.83-101, 1997 年
26. 富樫穎, 山崎寿一, 森本有紀, 本持秀治  
過疎地域出身者の母村交流の実態と交流意向  
—島根県大社町鶴鷺地区・住環境整備調査から—  
大阪市立大学生活科学部紀要, 第 44 巻, p.103-115, 1997 年
27. 山崎寿一, 吉川寛子  
ライフスタイルからみた西日本過疎自治体転入者の実態と定住施策の方向性  
大阪市立大学生活科学部紀要, 第 45 巻, pp.115-131, 1998 年

<1999-神戸大学 助教授時代(生活環境計画研究室 重村・山崎研)>

28. 内平隆之, 山崎寿一, 重村力  
尼崎市立成徳小学校の環境教育からみた校庭環境の成長  
—都市内の学校環境ストックの活用—  
神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 第21号, pp.17-22, 2003年
29. 内平隆之, 山崎寿一, 重村力  
都市内にある鎮守の森の市民的活用によるコミュニティ形成—尼崎市富松町を事例  
に—  
神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 第21号, pp.77-82, 2003年
30. Retna Hidayah, Tsutomu Shigemura, Juichi Yamazaki, Ahmad Djunaedi  
Spatial Formation of Pesantren Pabelan Central Java, Indonesia  
神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 22A, pp.57-66, 2004年
31. 内平隆之, 山崎寿一, 重村力  
農作物オーナーによる都市内の内の管理実態と市民活動の成長に関する考察  
—尼崎市田能地区における里芋オーナーを事例に—  
神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 第22号, pp.82-88, 2004年
32. 内平隆之, 山崎寿一, 重村力  
農的環境ストックの空間特性に応じた環境再生のあり方  
—工業都市・尼崎市を事例に—  
神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 第23号, pp.77-82, 2005年
33. T. Uchihira, J. Yamazaki, T. Shigemura  
Contemporary Spatial Functions of Rural Environmental Stocks in Urban Areas  
5th International Symposium on Architecture Interchanges in Asia: Global  
Environment and Diversity of Asian Architecture, pp.391-394, 2004
34. Y. Yamazaki, T. Shigemura, J. Yamazaki, D. Hashimoto  
House Exchange System Corresponding to Life Stage of Families on Boze Island  
6th ISAIA, Proceedings Volume I, pp.719-723, 2006
35. 山崎義人, 橋本大, 重村力, 山崎寿一  
人口増加を続けてきた坊勢島の居住システムの考察  
日本建築学会計画系論文集, 第612号, pp.57-62, 2007年
36. 山崎義人, 橋本大, 重村力, 山崎寿一, 杉野香織, 上野浩一  
坊勢島におけるライフステージに応じた地域内転居システム  
日本建築学会計画系論文集, 第616号, pp.85-90, 2007年

<2007-神戸大 山崎研究室>

37. J. Yamazaki  
The Planning Method of the Rural Landscape in Japan :The Green Regulations of  
Hyogo

2007. KSRP-RPA (Japan) International Symposium Country-wide Rural Planning and the Amenity in 21st Century, pp.28-52, 2007
38. 山田啓治, 山崎寿一  
阪神淡路大震災後の淡路市東浦町仮屋地区の集落・住宅復興とその特徴  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集2, pp.301-306, 2007年
39. 山崎寿一, 内平隆之  
尼崎市における都市農地の保全・活用に関する基礎的考察  
—2005年度尼崎市園田地区市民アンケート調査の分析を中心に—  
農村計画学会誌, 26巻論文特集号, pp.101-106, 2007年
40. 山崎義人, 杉野香織, 重村力, 山崎寿一  
ライフステージ毎にみた坊勢島における女性の交流の特徴  
—人口増加を続けてきた坊勢島にみる地域社会の維持に関する研究—  
日本建築学会計画系論文集, 第624号, pp.341-347, 2008年
41. Rohaslinda binti Ramele Ramli, J. Yamazaki, Y. Yamazaki  
A Study on Characteristics of Urban Kampong in 'Buffer Zone of Historical City of Malacca', Malaysia  
7th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, pp.580-583, 2008
42. 中川和樹, 山崎寿一, 金斗煥  
敷地条件との関連からみた住宅復興と敷地利用パターン  
—輪島市門前町諸岡地区道下の場合—  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集3, pp.125-132, 2008年
43. 金斗煥, 山崎寿一  
能登半島地震・被災集落における居住者動向と空地の管理・活用課題  
—輪島市門前町諸岡地区道下の場合—  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集3, pp.133-140, 2008年
44. 山下香織, 山崎寿一  
淡路市東浦町仮屋震災復興地区におけるコミュニティ住宅に関する調査研究  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集3, pp.175-184, 2008年
45. 池田秀載, 山崎寿一, 小池広秋  
篠山市福住地区の地域構成と大字福住の段階的空間構成  
—伝統的建造物群保存地区保存対策調査と関連して—  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集3, pp.195-200, 2008年
46. J. Yamazaki, H. Maruyama  
Sustainable communities and revitalization of depopulated areas in Japan  
Making Space for Better Quality of Life: International Symposium on Sustainable Community, ISSC 2009 in Yogyakarta, 2009
47. 山崎寿一  
能登半島地震被災集落・道下の地域性と震災復興  
日本建築学会計画系論文集, 第74巻, 第646号, pp.2617-2626, 2009年



48. 藤井麻里花, 山崎寿一, 池田秀範  
年中行事にみる生活文化と住宅・集落の対応に関する一考察  
—篠山市福住地区伝統的建造物群保存地区保存対象調査と関連して—  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集 4, pp. 63-68, 2009 年
49. 山崎寿一, 小池広秋  
美馬市脇町伝建地区の地域変容と景観整備に関する事例的研究  
—脇町 HOPE 計画以降の建物のファサードと用途の変化に着目して—  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集 4, pp. 85-94, 2009 年
50. 山下香織, 山崎寿一  
淡路農漁村における震災復興コミュニティ住宅に関する比較研究  
—淡路市仮屋地区、豊島地区、郡家地区を対象として—  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集 4, pp. 159-166, 2009 年
51. 山崎寿一, 山田啓治  
淡路農漁村における震災復興とコミュニティの継承・変容  
—淡路市仮屋地区と富島地区を事例として—  
日本建築学会住宅系研究報告会論文集 4, pp. 167-176, 2009 年
52. 山崎寿一  
震災復興事業後の農漁村の空間構成とコミュニティの継承・変容  
—兵庫県淡路市北淡町富島地区と東浦町仮屋地区を事例として—  
日本建築学会計画系論文集, 第 75 巻, 第 649 号, pp. 609-618, 2010 年
53. 山崎寿一, 池田秀範  
水系・景観に着目した篠山市福住集落の空間構成  
—篠山市福住地区伝統的建造物群保存対策調査に関連して—  
農村計画学会誌, 28 巻 4 号, pp. 426-432, 2010 年
54. 山崎寿一, 中川和樹  
能登半島地震被災集落・道下の住宅復興の実態 (震災後 2 年の復興過程)  
—道下集落の伝統的空間構成と復興住宅の屋敷地利用パターンの特徴に着目して—  
日本建築学会計画系論文集, 第 75 巻, 第 651 号, pp. 1151-1158, 2010 年
55. 中川和樹, 山崎寿一  
農村地域の高齢者支援ネットワークと居住継続に関する考察  
—輪島市門前町道下の場合—  
日本建築学会計画系論文集, 第 75 巻, 第 652 号, pp. 1449-1454, 2010 年
56. 山崎寿一  
居住を核とした農村の持続性に関する試論  
—環境、コミュニティ、生活文化の持続と相互連関—  
農村計画学会誌, 29 巻 1 号, pp. 41-48, 2010 年
57. J. Yamazaki  
A senior citizen support system to kick in the disaster area of the issue of residence - Noto Peninsula earthquake of the senior citizen in the problem depopulated area of the country formation to reject in sustainable society

Journal of Housing Welfare Vol.6, 2010

58. 内平隆之, 山崎寿一

都市農地の農地集積からみた集落類型の特徴と農家意向の対応

－尼崎市都市農地保全活用調査研究より－

日本建築学会技術報告集, 2010年10月号 掲載決定

59. 山崎寿一

能登半島地震被災集落・道下における通世代定住と非現住世帯の空地問題

－『昭和絵図』以降の居住動向と集落変容に着目して－

日本建築学会計画系論文集, 第75巻, 第657号, 2010年11月 掲載決定

## 【総説】

1. 早川和男, 山崎寿一  
自治体の環境計画と土地政策  
東京市政調査会, 都市問題, 第76巻, 第10号, pp. 48-57, 1985年
2. 山崎寿一  
イエとムラの空間原理からみた農村再構築ビジョン  
日本建築学会大会農村計画部門研究協議会資料, pp. 48-49, 1989年
3. 山崎寿一  
日本農村の集落景観づくり  
日本建築学会大会農村計画部門研究協議会資料, pp. 59-64, 1994年
4. 山崎寿一  
継承的計画—集落・地域計画を展望する—  
日本建築学会農村計画委員会春季学術研究会資料集, pp. 37-39, 1994年
5. 山崎寿一  
共同の空間—継承からみた集落空間構造と地域主体—  
日本建築学会大会農村計画部門研究協議会資料, pp. 15-22, 1995年
6. 山崎寿一  
建築学における農村計画とは何か  
日本建築学会農村計画委員会春季学術研究会資料集, pp. 3-6, 1996年
7. 山崎寿一  
定住・交流拠点としての現代の農村集落を捉える  
日本建築学会大会農村計画部門研究協議会資料, pp. 66-76, 1997年
8. 山崎寿一  
農村の計画と環境デザイン—そのパラダイム転換と今後の展望—  
都市デザイン会議編, JUDI NEWS, 035号, pp. 6-11, 1997年
9. 山崎寿一  
環境と文化を媒介とした「農」の開放—農住共生型地域形成への展望—  
農業と経済, 臨時増刊号, 第61巻第10号, pp. 41-51, 1997年
10. 山崎寿一  
私的空間の地域への開放と大阪のまちづくり  
大阪市政調査会編, 市政研究, 97夏季号, pp. 66-76, 1997年
11. 山崎寿一  
「被災疎開」からみた地域関係と農村の役割  
—「被災地からの児童生徒の転出状況調査」と「過疎地域の被災者受け入れ調査」より—  
日本建築学会, 災害時の都市と農村の連携, pp. 25-34, 1998年
12. 山崎寿一  
創生期の農村建築研究会 活動の軌跡—発足から農村計画委員会補足まで—  
農村建築研究会機関誌, 農村建築, 第105号, pp. 17-40, 1998年
13. 山崎寿一

建築系農村計画の大系を展望する（巻頭論文）

農村建築研究会機関誌，農村建築，第106・107合併号，pp.1-4，1998年

14. 山崎寿一

田園の魅力とルーラルデザイン

日本建築学会大会農村計画部門研究協議会資料，pp.10-15，1998年

15. 山崎寿一

ムラの潜在的資源の発見的創造—民家・集落ストックを活かす知恵と主体—

日本建築学会大会農村計画部門研究協議会資料，pp.1-6，1999年

16. 山崎寿一

都市のなかの集落空間と共生する—兵庫県尼崎市における農的環境資源を活かす「実験」

B10 CITY, NO.17, pp.68-75, 1999年

17. 山崎寿一

豊橋・浜松 地方都市計画研究の視点と可能性

三宅醇先生豊橋技術科学大学退官記念論文集，pp.189-200，2001年

18. 山崎寿一

都市と農村の共生による循環型社会システムの提案

日本学会議建築学研連，設計科学としての建築・都市，pp.139-143，2004年

19. 山崎寿一

継承社会の変容と持続発展型農村計画の展望

農村計画学会誌，25巻1号，pp.140-142，2005年

20. 山崎寿一

人口減少・高齢化時代における持続発展型農村計画の展望

—建築・居住分野からのパースペクティブ—

農村計画学会2006年度春期シンポジウム報告集，pp.21-35，2006年

21. 山崎寿一

国土形成における消滅集落と景観管理

—世界文化遺産 知床を訪ねて—

農村建築研究会機関誌，農村建築，114・115合併号，pp.7-12，2006年

22. 山崎寿一

非持続的社会を克服すべく国土形成の課題と魅力育成型農村計画の展望

2007年度建築学会大会（農村計画部門）研究協議会資料，pp.123-126，2007年

23. 山崎寿一

集落の規範

建築雑誌，特集 都市をつくる建築，vol.122, No.1568, pp.32-33, 2007年

24. 山崎寿一

能登半島地震と私の研究

環境公害研究センター，清流，pp.23-26，2007年

25. 山崎寿一

計画学の規範モデルとしての集落

近代の空間システム，日本の空間システム特別研究委員会シンポジウム「建築学は2

0世紀をどう継承するか」報告集, pp. 25-28, 2007年

26. 山崎寿一

設計科学としての集落研究

日本建築学会, 特別研究 41 近代の空間システム, 日本の空間システム, 都市と建築  
の展望: 省察と展望, pp. 83-84, 2008年

27. 山崎寿一

サステナブル・エリアデザインの理論構築に向けて

—計画学の規範モデルとしての集落—

日本建築学会, 日本のサステナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト提  
起報告書, 2009年

28. 内平隆之, 山崎寿一

都市のなかで農と共生する暮らしとコミュニティを育む

—兵庫県尼崎市における農的環境資源を活かす2つの「社会実験」—

B10 CITY, NO. 44, pp. 106-111, 2010年

(上記以外 30編)